

北海道遺産  
Hokkaido Heritage

北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第100号  
記念号

ピアソン便り

2021. 9.30

発行人：福井 洋之（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

NPO 法人ピアソン会事務局  
（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel. FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前9:30～午後4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

# ピアソン記念館開館50周年記念行事実施予定！

終戦後、北見児童相談所等として使用されていた旧ピアソン邸の改修工事を、1970（昭和45）年9月から始め、1971（昭和46）年5月31日にピアソン記念館としての開館式を行い、その年10月1日「ピアソン記念館条例」が制定され、正式な記念館として誕生致しました。

今年度当初の予定では、5月31日に記念行事として、来館者50組へ「開館50周年記念マグネット」を記念配布予定でしたが、コロナ禍の臨時休館なども続き、延び延びとなっていました。この行事を11月3日から実施予定としました。希望者50組で配布完了となります。アンケートへの協力が配布条件となります。



## 「開館50周年記念誌 ピアソン記念館」

開館50周年記念誌  
ピアソン記念館

前月のピアソン便りでも案内しましたが、開館50周年を迎えた「ピアソン記念館」の記念誌を発行しました。A4版20ページで、表紙はカラー、本文モノクロ仕様です。

非売品での製作で、関係団体や関係者への配布を目的としたものです。

「ピアソン記念館の建設経過」「復元工事及び改修工事等」「北見国ピアソン夫妻の足跡」「主な展示資料1階・2階」「エリザベス市展示資料室」「ヴォーリス記念室」「唐笠何蝶記念室」「英文での館内説明文」などの構成です。限られた予算での発行となり部数も限られています。希望者にはできるだけ配布したいと考えております。記念館まで来ていただくことを前提で贈呈いたします。遠隔地で郵送の場合は郵送料をご負担いただけましたら送付いたします。部数には限りがございます。

## 第32回文化サロン de ピアソン

### ～クリスマスリース講習会～

◎開催日時：2021年11月28日（日）

午前10時～12時（8名）、午後13時～15時（7名）

◎開催場所：ピアソン記念館2階 北見市幸町7丁目4番28号

◎講師：増井小夜子、講師補助者がお手伝いします。

◎参加料：1,300円（材料費代）。親子での参加可。

◎問い合わせ：NPO法人ピアソン会（電話0157-31-1215）電話にて予約受付（先着15名で〆切）



# 「広報きたみ」で活動を紹介されました！

北見市出身で、現在アメリカ合衆国ニュージャージー州マディソンに在住の唯野則幸さんが、8月6日金曜日の午後、ピアノソソと懇談のため記念館に来られました。唯野さんとは、2014年10月、姉妹都市交流45周年記念として、北見からの訪問団がエリザベス市を訪れた時、偶然に歓迎会で出会った方（その時の奇跡的な出会いについてはピアノソソ便り第64号をお読みください）です。

以来、北見市の国際交流にも多大な協力をいただく方となっているばかりでなく、我がピアノソソ会にとっても、現地での調査研究に欠かすことのできない協力者となっています。



今回の懇談は、コロナ禍で、ピ



アソソ記念館も臨時休館中でもあり、ピアノソソの庭での懇談となりました。

そのような時期に、北見市広報担当職員より、「ピアノソソ会の活動を記事にしたいのですが」との取材依頼があり、具体的な活動として「唯野さんの訪問」を話したところ、「ぜひ！」ということ、右にある記事として紹介されました。

私たちの『会』の活動が、北見市の広報で紹介されたのは初めてのことです。貴重な資料として保存したいと思えます。

# オニグルミの実が、一年ぶりで生じました！



2019年8月、ピアノソソ公園西側道路沿いの樹木が、電線の保安上の問題で、約8本ほどが伐採されました。その中に、毎年クリスマスリースの飾り付け用や、リス達の冬のための食料となっていたオニグルミの木（幹まわり194センチ）も伐採候補としてありましたが、「剪定だけで何とかありませんか？」とお願ひしました。剪定の年と、昨年は実をつけませんでした。今年はお小粒ですが何とか実をつけてくれましたので、クリスマスリースに使えます。

写真／梓の中がオニグルミの木



# 「唐笠何蝶記念室」寄贈作品6点追加展示！



唐笠何蝶記念室に新しい作品を6点追加展示しました。

ピアノソソ便り第98号6P記事で紹介しましたが、嶋田一步（唐笠何蝶娘婿）氏のご子息、嶋田言一氏より8月に、嶋田摩耶子・一步俳句額装5点と、嶋田一步氏の俳句を染め抜いた言一氏デザインの「風呂敷」の寄贈を受けました。この俳句の風呂敷は、摩耶子さんがお亡くなりになった時にも言一氏デザインで作成されており、今回夫婦の二人の俳句の風呂敷が並ぶことになりました。



写真右／2枚の俳句の風呂敷展示。写真上／額装俳句5点を新たに展示品に加えました。

投稿

### 第5回

# ピアノン夫妻の年譜から拾う

～九月、十月、にまつわるあれこれ～

文責：北原俊之

九月十日（金）

一八八八（明治二一）年

ピアノン宣教師赴任地日本に到着する（二七歳）。

### ▼ピアノン宣教師が乗船して

きた船

～太平洋航路・汽船アラビック号



〔データ：1881年建造の初代汽船で、鋼鉄船体を持つ。英国北アイルランド・ベルファストで建造。ホワイト・スター・ライン社所有。本来大西洋航路船舶であったが、ピアノンさんが渡航する頃に太平洋航路で使われたと思われる。〕

### ▼日本到着を知らせる手紙

改めて原文を翻訳しました

『ピアノン書簡集』 手紙 No.2

九月十一日

明治学院  
東京、日本

1888.9.11

牧師ジョン・ギレスピー神学博士 様  
親愛なる博士、

〔日本到着予定日のことをすでに〕「ご了察のこととは存じますが、私は、無事に、そして心身ともに良好な状態で、ここ〔日本という自ら願った〕胸を躍らせる碇泊地に降り立ちました。これも「ひとえに」、友の祈りのおかげであり、憐れみ深い神の御業のためです。

船の旅はこの上なく快適で、波穏やかで、空は澄み渡り、乗り合わせた人たちとも気が合いました。途中ホノルルで「停泊のため」一日を過ごし、フランク・デイモン氏としばらく語り合ったことで、私は、ハワイに住む人々の政治や社会情勢、宗事情などについて一定の理解ができました。「ハワイのキリスト教問題を考えるとき」、

元来キリスト教は、長い歴史上過去の時代時代で総じてうまくいっていません。勿論その歴史過程も十分理解されていますから、現代のキリスト教自体が、「宣教師論などで」時々指摘を受けるような不備があるわけではありません。デイモン氏の伝道は、ハワイ諸島で多様な職業に従事する多数の中国人を対象に行われています。ハワイの中国人の問題は、解決されつつあり、私達「米国人」などよりもはるかによい成果を生みつつあります。〔その結果〕中国人はほどこいにある特定の商売などに就くようになってきていて、その勢力を徐々に拡大させています。

ところで、私は、アラビック号の船上で、デイモン氏により改宗したある中国人に会いました。彼は立派な考え方の青年で、もしもあなたが会えば、きっと、大いに興味を持つような人物でした。〔横浜では〕マクネア宣教師が棧橋〔船着き場〕で私達を出迎えてくれましたし、マレーイ宣教師も来てくれました。マレーイ氏は、三か月の契約で山形に行く予定ですが、その後の動静はまだ不確かですが、恐らく「群馬県」前橋に行くことになるでしょう。

昨夜は、私は「白金の」学院構内にある「建築直後の」「ハボン館」に泊まりましたが、とても眺望の良い場所にあり快適でゆったりとした生活空間の建物でした。ラン

デイス氏の家族が来日した時には、館内の部屋の配置を少し調整する必要がありますが、彼が来ることにより、宣教師（教員）の人数配置も満足なものとなり、今後の指導の成果が大いに期待できると私は心強く思います。太平洋を挟んで、私が関わりうとしているところに日本の教育指導の重要性は、さらに増すことと思えます。

理事の皆様と財務局の方々にどうぞよろしくお伝えください。

敬具

ジョージ・P・ピアノン

ミス・ラファティは、横浜で友人達と会い、元氣を取り戻しています。

マクネア氏は、日本伝道団の年次報告を含む手紙を、次回郵送すると語っています。

G・P・P

註

▼フランク・デイモン Frank W. Damon ハワイアンボードの宣教師で、ハワイの中国人を対象に伝道活動をした。

▼マクネア宣教師 (1858-1915)

Rev. Theodore Monroe MacNair

1884 来日。1882 プリンストン神学校卒。明治学院設立時の理事。

▼マレーイ宣教師 (1861-1949)

Rev. David Ambrose Murray

1888 プリンストン神学校卒、来日。

ピアノンさんと神学校の同期卒。

当初は関西で活動。

▼ミス・ラファティ

Miss C. E. Lafferty (大阪で活動か)

### ▼ピアノンさん腸チフスに

～日本到着から十日目

ピアノンは来日後、東京芝の明治学院の校内に住む宣教師マックネア氏のもとに身を寄せることになった。物珍らしい日本の生活が始まったが、十日目に早くも腸チフスにかかり、高い熱のため生死の境をさまよいつつ三十日ほど床にふした。長い船旅からくる疲労、食物の変化、西も東もわからぬ外国の地、通じない言葉などが重なったのかも知れない。彼は大体胃腸はあまり丈夫ではなかったようだ。この生死をさまよう焦りの経験はいよいよ彼に救いの問題を真剣に考えさせる動機となった。自分が今まで教えてきたこと、また教え宜べ伝えるためにきた救いは一体何か。日本人に神の福音を説かずして、ここからこのまま天に取り去られてよいか。神がわたしを宣教師にしたことは果して最高の御旨といえるだろうか。自分には、神の御旨であるなら、いついかなる方法においても、またどんなことでも喜んで受け入れようとする準備ができていたのか。とにかく三十日間病気で床に伏したことを死のシンボルとし、病気がら回置したことを復活のシンボルと解釈したこの経験は、力より力へと進んでゆく体験であったとい



◆ピアソンさんはどこに住んでいたか  
白金の学院校内「ヘボン館」

明治学院に関する報告

う。彼はエレミヤ哀歌の一節「人が若い時にくびきを負うことは良いことである」(三章二七節)を思い出し、主よりの慰めと励ましを得た。  
『田舎伝道者 ピアソン宣教師夫妻』  
小池創造著 1967年 発行：日本基督教会北見教会ピアソン文庫／第二章東京時代／明治学院と千葉の農村伝道／p.24～25

参考資料 ヘボン館とは

明治学院 歴史と沿革  
J・明治学院の創立と白金キャンパスの開設  
.....1886年に《明治学院》が設立されました。1886年に開催された最初の理事員会は明治学院創立案を制定しました。.....校地は現在の明治学院大学がある白金に定められ、翌87年に校舎と寄宿舎が竣工しています。

Missions cooperating with the United Church of Christ in Japan (1889-01 Tokyo).p.18～19

「サンダム館はその後殊に二階の講堂の大きな洋燈の下で毎週一回金曜の夜に行はれた文学会によつて、可成り深く在学生の印象に残つたし、ヘボン館の方はその五階

の檜が非常によい眺望を占めて居た事、西には武蔵野から秩父の山々の彼方に富士を見渡し、東には品川湾の海水の彼方に房総の山々を眺んで、広やかな眺望を占めて居た事、及び有志の人々が其処で朝な朝な早天祈祷会をした事、又澤山の窓から静かな夜の校庭に懐しい燈の光を放つて居た事などによつて、矢張り在舎生の脳裡に深く刻まれてゐた」

明治学院ホームページより：https://www.meijigakuin.ac.jp/about/history/history.html#j 検索 2021.08.02

十月一日(金)  
一八九〇(明治二三)年  
アイダ・ゲップ日本に向けサンフランシスコを出帆(28歳)

日本へ出発のためサンフランシスコのホテルに到着予定記事

九月二日付新聞記事  
サンフランシスコのオクシデンタルホテル到着者にアイダ・ゲップの名があります。  
サンフランシスコの地元紙『モーニングコール』(1890年9月2日付6面)



Occidental Hotel, San Francisco 1905 撮影  
Ida 宿泊当時の姿と考えられる

アイダが宿泊したホテル  
オクシデンタル・ホテル

日本へ派遣の宣教師  
昨日「米国」東部から来て到着した方々の中の一人、ミス・アイダ・ゲップは、ニューヨークで教育を受け、聖公会の宣教師を志望して日本派遣が決まりました。  
彼女は、明日、ゲリック号で出帆して、東京へ直行し、東京では、日本人女子生徒対象のミッションスクールで教鞭をとる予定です。ミス・ゲップと同行するは、サンノゼ出身のミス・P・S・ハーシュで、彼女も同じく宣教師として極東に派遣されます。  
地元紙『サンフランシスコクロニクル』(1890年9月30日付3面)

アイダが乗った船  
ゲリック号

オクシデンタルホテルは1861年にカリフォルニア州サンフランシスコにオープンしました。サンフランシスコの地震とそれに続く1906年の火災で破壊されました。米国でオクシデンタルと名付けられた多くのホテルの一つであり、裕福な旅行者を満足させるサンフランシスコでも数少ない高級ホテルの一つです。  
「データ：汽船「ゲリック号」(1890年当時：二代目、4200総トン)。オクシデンタル・アンド・オリエンタル・ライ社が所有する大型汽船。同社は、1906(明治39)年に、サンフランシスコ・横浜間の航路から撤退した。※当時、帆船から大型汽船に変えたことで、航海日数は42日から12日に短縮された。1885年建造。」

HOTEL ARRIVALS  
OCCIDENTAL HOTEL  
C A Lyon, USA  
I Hoffman, San Rafael  
W R Heath, San Rafael  
O E Brown & w. Canton  
Miss Smithy, Iowa  
Miss H Richardson, St Ls  
Mrs Sherwood, New York  
J W Hunt, Los Angeles  
Miss Ida Goepf, New York  
L N Wheeler, Wisconsin  
W Dolan, Richy Springs  
D A H Wallace, Monterey  
Dr W R Payne, Monterey  
W A Akers & w. Montana  
C McQuision & w. Idaho  
Mrs A Torney, Contra Cost  
Misses Torney, Contra Cost  
A Herrmann, Santa Cruz  
Mrs Norris, Santa Cruz  
General Gibbon, USA  
Lient Lovering, USA  
L Kline & w. Seattle  
C H Murray, New York  
Dr Grace Peckham, N Y  
E W Hale, Sacramento  
Mrs Serrano, Napa  
Miss Serrano, Napa  
Miss Horsey, New York  
H Hall, USA  
Dr J McCartney & w. Oho  
Miss Stenenson, Chicago  
Miss Sherwood, New York  
Miss d'Etta Hewett, Lake  
Miss Rowena Bird, Oberin  
W L Thomas & w. St Louis  
M J Cheeseman, Salt Lake  
W C Walker, Salt Lake  
M L Taft & w. Peking  
Miss Taft, Peking  
T A Johnson, Santa Rosa  
C A Fay, Santa Rosa  
G Ball & w. San Jose  
Miss M H Barkett, Boston  
M P Pfeiffer, stmr City of  
New York  
Mrs H Manning, San Jose  
G Telghmann, Sausalito  
Mrs G Telghmann, Saultito  
R C Downs & w. Sutter C  
G F Downs, Sutter Creek  
F D Cobb, Stockton  
Mrs Foye, Sacramento  
Miss Stebenson, Sacmnto  
A E Duncan, Willows  
The Morning Call, San Francisco,  
Tuesday, September 2, 1890  
6th page of (eight pages) より一部抜粋



十月二十日(水)  
一八九〇(明治二三)年  
アイダ・ゲップ日本に到着

▼米国聖公会の記録を拾う

『米国聖公会日本宣教師団のあゆみ・小史』  
(米国聖公会内外伝道局1891)

1890年

……………10月1日、ミス・アイダ・ゲップとミス・リサ・ラヴェルは、日本に向け出帆し、10月20日に東京に到着しました。東京にて、ミス・ゲップは、ミス・オールドリッチを支援して「女学校 Young Ladies Institute」〔静修女学校〕の教職に就くことに決まりました。〔その後〕ミス・ラヴェルは、10月29日に大阪に到着し、ミス・ブルを支援し、女学校で英語を教えることになりました。

▼アイダは東京のどこに住んだか  
当初は「築地居留地」五六番  
後に「築地居留地四一番B」

東京到着直後の宿泊などは詳細が不明だが、1892年の「人名録」では、築地居留地五六番となっていて、コール宣教師夫妻 Rev. and Mrs. J. T. Cole と同じ住所となっている。

また、1895年の「商工人名録」を見ると、築地居留地四一番Bとなっていて、Miss Verbeek と同じ住所となっている。

●築地居留地の俯瞰図参照 ↓

十月  
一九〇八(明治四一)年  
ピアノン夫妻初めて北見國を伝道

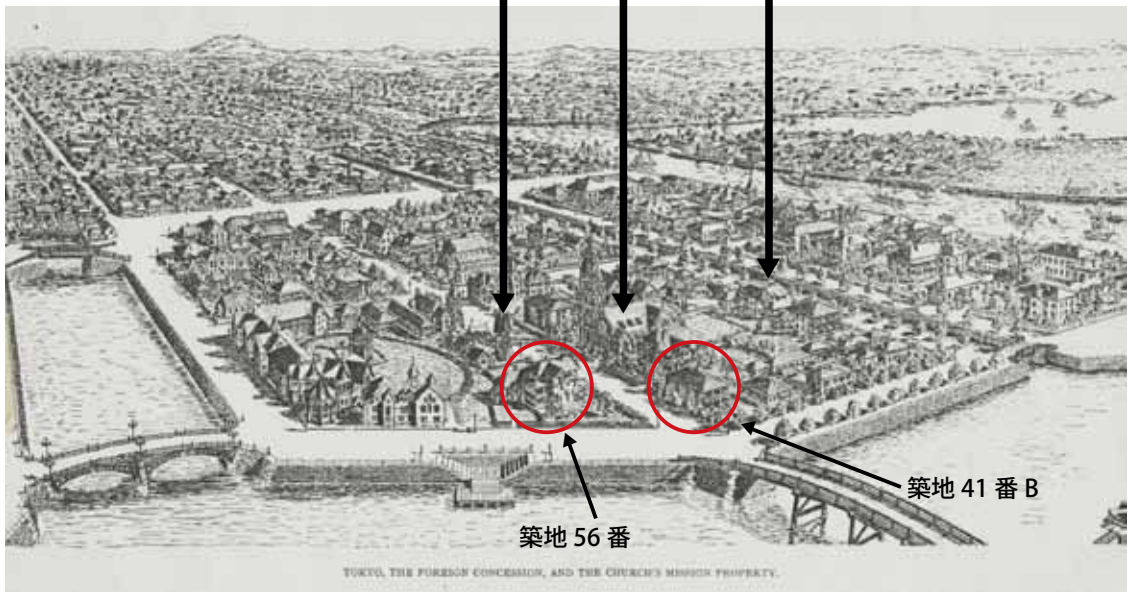
【The Year 1908 : p.32】

北見地方への私たちの旅は、十月。徒歩か馬の背に揺られるか以外では到達できない、北海道の「さいはての地」への訪問でした。つい最近の訪問でしたが、この旅は、私の脳裏に数え切れないほどの深い印象を残してくれました。

【The Year 1908 : p.33】

この旅を終わらせるためには、私たちは、北海道の島を、船でほぼ一周しなければならなかったの

築地居留地俯瞰図  
1895(明治28)年頃



聖三一一大聖堂などを設計したガーディナーが、築地本願寺から見てスケッチした築地居留地。1895年。アイダが住んでいた直後の町の姿。(図は、立教大学資料より) ※ 諸資料を参考に北原が作成

です。小樽を出航し、サハリンを遠くに見ながら宗谷岬を通り、網走の北東の海岸に沿って、千島列島をかすめて通り、根室を通って、釧路まで行き、そこから鉄路

クリスチャンのいる二つの活動拠点である学田と北光社を目指しました。この旅の全行程には、二五日間かかり、この期間中五〇回の集会を十二の異なる町で行い、二五〇〇人の人々に話をしました。二五〇〇人という数字は、北海道には人が散在して住んでいて、人口も少ないことを考えると、驚くべき数字なのです。

十月十八日(日)  
一九〇八(明治四一)年  
ピアノン宣教師網走監獄の受刑者全員に伝道講話(四七歳)

●網走刑務所で受刑者全員に伝道する

【The Year 1908 : p.37】

5網走北見地方の南東の港である網走には、長期刑の受刑者用で、北海道三大監獄のうち最も規模の小さい監獄があります。他の二つは、十勝と樺戸にあります。私たちは、十月十七日土曜日に、網走に到着し、翌日の日曜日を監獄で過ごす予定をしていました。宗教的な講話を受刑者に話すことが許されるのは、日曜日に限られていたので、私たちは監獄の典獄を訪ね、日曜日に教誨用の講堂で受刑者たちに、ピアノン氏が福音を説くことを許可してもらうことに決めていました。

そこで伝えられたのは、このよ

うなことは今までに行われたことがない、ということでした。ただし英国聖公会(CMS)が監獄の門前にきちんとした教会を持つていて、監獄の職員たちに対してクリスチャンとしての活動を、しっかりと何年も続けている、ということはあるのですが。

網走に向かっていた土曜日は、ほとんど一日中、祈っていました。神が福音の光で、「貧苦と鉄の枷が締めつける捕らわれ人一新共同訳」(詩編一〇七章・一〇節)を照らすようにと。その日は、これが私の仕事でした。

そして、私たちがとても嬉しかったことには、この典獄はクリスチャンではなかったが、とても理解があり思いやりのある親切な人物であったことと、所長専用室で短時間面談のあと、ピアソン氏に許可を与えてくれたことです。日曜日の朝、仏教の教誨師同席のもと、教誨講堂に四〇〇人強の受刑者全員を集めて、福音を説くことを。

これで神の福音に向けて、もう一つの大きな北海道の監獄が生まれました。ここの受刑者は、罪ある者に対する主イエスの愛という福音を聞いたときに、喜びに満ちあふれて大いに笑いました。

その後、網走監獄のクリスチャンの看守五名のうちの一人が、ピアソン氏に次のような手紙を送っ

てきました。..

一九〇八年十一月十一日

監獄の講堂で話してくださったメッセージに関して申し上げたいことは、総勢四〇〇名にもなる受刑者たちが深い感銘を受け、ご親切に対する感謝の気持ちを口々に語り、それが態度にも現れております。つきましては、また近いうちに、受刑者たちにお話をいただきたいと考えております。」

この後すぐに、十二月十六日付で、嬉しい便りが届きました。「網走監獄の受刑者一〇〇人が、聖書が欲しいと言いつ出したのです」との内容。それで、多数の聖書やトラクト「小冊子」などが、イギリス人の友人たちの好意によって、東京にいる独立の宣教師から送られてきました。  
The Year 1908 in The Hokkaido, Japan (Rev. & Mrs. George P. Peirson)

九月二三日(土)  
一九一七(大正六)年  
矢島楯子 野野牛教会に来る

●矯風会記録 原文のママ掲載

大正六年九月二十一日(金) 午後二時ヨリ 北村姉宅ニ於テ  
会長ノ祈禱ニテ役員会ヲ開ク  
一、九月十八日ノ限ヲ以テ矢島会

頭安屋少年部長來野の報アリ  
歓迎□ニ集会準備ノ相談ヲナ

ス

一、九月二十二日午後七時二十七分旭川ヨリ來着ノ件停車場ニ

歓迎ノコト

一、催スベキ集会ハ左ノ如ク豫メ定メ早急ニ依頼スルコト

一、九月二十三日午後三時ヨリ教会ニ於テ婦人矯風会

二、全二十四日午前十時ヨリ小学校ニ於テ少年少女禁酒演

説会

三、全日午後七時ヨリ教会堂ニ於テ一般公衆ノタメ禁酒演

説会

一、市中ニ広告ビラ二十五枚張ルコト

一、各戸ニ印刷千枚ヲ配布スルコト

一、之ガタメ凡ソ十名ノモノソノ任ニ當ルコト

一、大阪衛生婦人会役員以下評議員宛ニ町ノ有志者ニ特別

案内状ヲ差出スコト  
坂野副会頭の祈ニ閉会

九月廿三日(日) 午後二時 於教会堂 婦人会

司会 坂野副会長  
一、賛美歌 三百十六番

一、聖書朗読  
一、祈禱

一、記録朗読 北村 松枝  
一、会計報告 //

一、矯風運動ノ由来 矢島会頭  
熱病ノタメ降壇 ピヤソン  
会長中間ヲ継ギ□床中ノ  
守屋姉 押シテ登壇

(写真) 矢島楯子とともに「ピアソン夫妻の足跡」p.40



司会 ピヤソン会長

一、賛美歌

一、聖書朗読 大井上 牧師

一、祈禱 矢島 会頭

一、矯風事業 守屋東子姉

一、矯風演説 矢島会頭再度登壇奨励

一、新会員募集 凡十七名

一、小冊子配布 五錢袋ノ分配

一、賛美歌

一、祈禱 会 ピヤソン博士

散会

※ピアソン記念館に於ける矢島楯子の解説パネルコーナー  
「ピアソン夫妻ゆかりの人々」

矢島楯子

(一八三三年〜一九一五年)

女性教育者の竹崎順子は姉、徳富蘇峰と蘆花は甥。結婚10年で離婚、1872(明治5)年40歳の時に上京し教員伝習所に学ぶ。小学校教員をへて新栄女学校教員、桜井女学校校長となる。キリスト教徒となり1879(明治12)年受洗。1886(明治19)年40歳で日本基督教婦人矯風会を創立。1893(明治26)年日本基督教婦人矯風会会頭として廃娼運動に奔走、万国矯風会大会や国際軍縮会議にも参加。ピアソン夫妻とは旭川時代より親交がありこの部屋にも宿泊する。



九月二十四日(月) 午前十時 於野野牛小学校  
青少年女禁酒ノ必要

守屋東子姉  
終ツテ禁酒唱歌ノ一節ヲ教ヘラル  
男女小学児童 三百四十名

九月二十四日(月) 午後七時 於教会堂 矯風演説會

# ピアノソング会創立23年、NPO法人20年記念誌！

ピアノソング会が生まれたのは、23年前、1998年の9月になりました。創立以来、役員を務めていたメンバー9名のうち、現在でも活動をしている者は2名となつてしまいました。その間のピアノソング会活動記録も多種多様にあり、後継の役員にもわかりやすい形で残していかなければなりません。

2009年1月に、ピアノソング会活動記録を「ピアノソング会十周年記念誌」として残しました。その頃は、創立メンバーがほとんど現役で活動していて、そろそろ次の世代に継承しようという時期でもあったからです。

内容は、主として10年間の活動記録を文章化した構成になっていました。本を読む世代を意識した記念誌レイアウトでした。



さて、その記念誌発行から10年後の2019年に、「二十周年記念誌」発行の計画を立てたのですが、ちょうどその年は、ピアノソング会故郷エリザベス市と北見市の姉妹都市提携50周年記念年にあたり、前年より実行委員会活動などもあり、大きな事業二つ抱えることは、予算面からも出来ず、姉妹都市提携事業を最優先としました。

本年、ピアノソング会が特定非営利活動法人（NPO法人）に承認され20年目の記念の年であることから、「20年記念誌」を発行する事といたしました。「十周年記念誌」とは、発想を変え、手軽に活動の記録をカラー写真等で見られるようにとの考慮から、『読む記念誌』というより『見る記念誌』として、写真画像を主とした、『電子書籍』での形態で発行することとしました。

現在、編集作業の最終段階で、A4版カラー、約250ページになる予定です。発行は、10月末を予定しています。詳細はホームページで告知します。

北海道遺産協議会事業！  
「ほっかいどう遺産 WAON」

記念誌発行支援として、上記団体よりの助成金交付が決定しました。  
記念誌の一部印刷化に対するもので、交付額 **150,000 円**です。

そば=ガレット

味処そば!!

人地須維  
sas chjin

北見市内常盤町1丁目5土曜日・日曜日 (11:00~14:00)  
電話の予約制 ☎61~4729

## 「ピアノソング学事始め」

16

この「ピアノソング学事始め」は、2001年に街の情報誌に連載したのですが、少し手を加え年号なども修正し改稿として連載しています。

(16) ピアソン夫妻と札幌農学校

北海道大学の前身である札幌農学校の始まりは、明治5年に東京の芝増上寺内に開拓使仮学校を開設したことによります。

ここには、官制の女学校も併設されていましたが、三年後札幌に校舎を移転したことや、その翌年風紀上の問題等が起り廃止となります。

札幌農学校の正式な開設は明治9年の8月になり、その校舎は現在の北一条西二丁目の時計台あたりで、今も残る時計台はむかし札幌農学校の演武場であったことは皆さんご承知のことと思います。

ピアノソング夫人は、1898年(明治三二)頃札幌農学校でドイツ語を教えています。この事は北海道大学図書館「北方資料室」に残るピアノソング夫妻ゆかりの写真二枚から分かるのですが、その貴重な写真どちらにも、後の作家有島武郎が写っています。写真の添え書きには、「明治三二年」とありますので、ピアノソング師がちょうど北星女学校の管理責任者として活躍していた時期とも重なります。



札幌農学校校舎は、1906年(明治三九)頃に、現在の北海道大学キャンパスに移転しましたので、ピアノソング夫人が有島武郎らにドイツ語を教えていた頃は、今の時計台のところにあった校舎時代になります。前回書きました小樽静修女学校(大正三年にロース急死により閉鎖)への支援も継続していましたが、ピアノソング夫妻は、汽車で小樽への出張教授もしながら、札幌での活動と、多忙な新婚時代をおくっていたことが見えてきます。(この後、当時ピアノソング夫妻と新渡戸稲造の交流・河合道との出会いなど、新たな資料を見つけることができました)

写真/1898(明治31)年頃、ピアノソング夫人札幌農学校ドイツ語聖書講読教室での写真。右夫人から、星野勇三、有島武郎、森本厚吉。

# 「ニュージーランドからの便り」第29回

ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏



2021.8.18

◆昨日弟（在オークランド）が来て、二人でシエークスピア公園の羊を見に行き、ヒビ（小鳥）の給餌場ガリー滝まで歩きました。トウイやケレルも見えました。

◆深夜、オークランド地域はデルタ株感染者が出て、突然のロックダウンになりました。私たちの外出は幸運でした。ステイ・アット・ホームと外出時マスク着用の要請。集会は禁止。

◆屋内では快適です。昨日の写真を送ります。写真 ↓

◆北見では心地よい気温でしようか。こちらは数日間荒れ模様で、今日は落ち着いています。

◆国内各地はレヴェル3になっていますが、オークランドは今日からレヴェル4でロックダウンが続きます。オークランド地域の出・入りは規制され、移動はエセンシャル・ビジネスに限



北見の皆さんが健康でありますように。

2021.9.22

◆時が過ぎるのはなんと速く春たけなわです。北見の皆さんはもう秋ですね。お元気でありませうように。こちらは元気です。

◆最近はおコロマイ・ベイやシエークスピア公園まで歩いていきます。子羊が生まれてもう1カ月も過ぎ、成長は早く、健康で活動的です。

◆先日、羊の牧草地で7羽のコガモを連れたパラダイス・ダック一家に出会いました。見たこともない大家族です。全部が成長するとは思えませんが、何羽でも育ってもらいたいです。

◆オコロマイの引き潮の水辺でゴッドウィット（シギの一種―ハード氏の注）を見かけました。この近辺では珍しいです。シベリアからはるばるニュージーランドまでの渡り鳥です。飛来の季節で、長距離の旅を思えば感動します。熱心に食事中でした。

◆庭は春蒔きの準備が整いました。

◆今日からオークランドはレヴェル3に戻り、商店や仕事は再開できますが、できれば外出は控えた方が良さそうで、商店や園芸店などは閉じたままです。移動も厳しい制限下にありませう。罹患者は減り、ワクチン接種者は多いですが、まだ注意が必要です。他の地域はレヴェル2ですが、オークランドでの低下にはまだ2週間ほどはかかりそうです。

◆北見の皆さんが無事でありませうように。



写真/プラムの樹には花が咲いている。

教会創立 1900年

## 日本キリスト教会 北見教会

主日礼拝・毎週日曜 午前10時15分  
 牧師 森下一彦（学校法人ピアソン学園北見幼稚園理事長）  
 〒090-0035 北見市北斗町2丁目1-30  
 TEL/Fax 0157-23-3361 e-mail k.mori64@outlook.jp

### 編集後記

8月は、ピアソン記念館が9日間臨時休館となりました。9月は26日間臨時休館（公休日を含と9月全休）でした。この編集後記を書いている29日の情報では、全国的に感染が劇的に減少していることから、「緊急事態宣言は解除になる」と、報道されています。毎日毎日コロナの話題でイッパイです。考えて見るとこのような状況が一年半も続いているのですね。その間、私は一体何をしていたのかと振り返ると……。

気を取り直して……、会報が100号となりました。今回は記念号で8ページです。よく続いたと感心します。会員の皆様のおかげです。今後も協力をお願いします。

（理事兼事務局長）伊藤 悟